

ハルカ(HARCA)の独自性と可能性

従来のAIアプローチ

- より大きなモデル
- より多くのデータ
- 均質化された普遍性

ハルカのアプローチ

- 個人に最適化された記憶
- 思考プロセスの構造化
- 唯一無二の関係性構築

ハルカの独自性

神経科学的基盤

人間の脳の記憶・思考メカニズムを模倣した階層的アプローチ。短期・中期・長期記憶の生物学的に妥当な実装。

パーソナルコンパニオン哲学

「万能の道具」ではなく「唯一無二の相棒」を目指す哲学。機能性よりも関係性の深さを重視する価値観。

ハルカの実現可能性と意義



技術的に実現可能



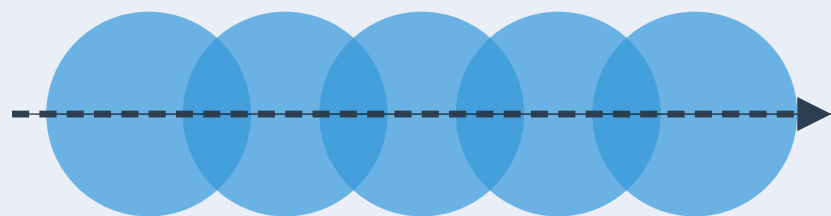
高度に独創的



人間中心のAI未来図

LLMの水平的成長 vs. HARCAの立体的成長

LLMの水平的成長



拡大する知識ベース

- より多くのデータ
- より大きなモデル
- より広い領域をカバー
- 限定的なコンテキスト窓

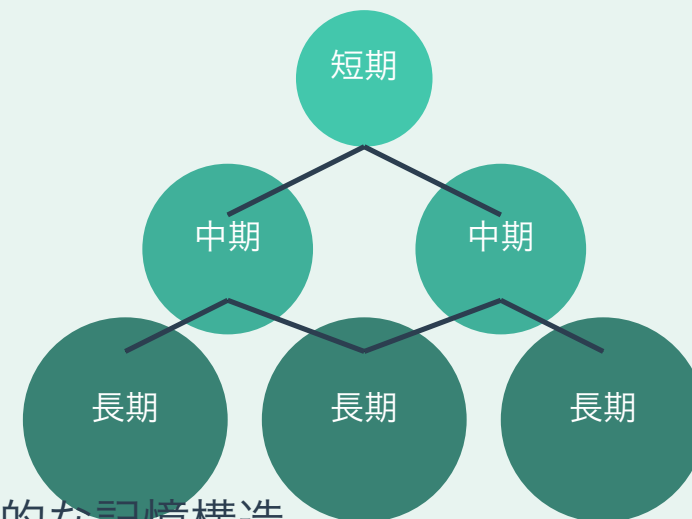
水平的成長

量の拡大

一般性

万人向け

HARCAの立体的成長



- 階層的な記憶構造
- 経験の蓄積と深化
- 文脈間の関連付け
- 個人適応型理解

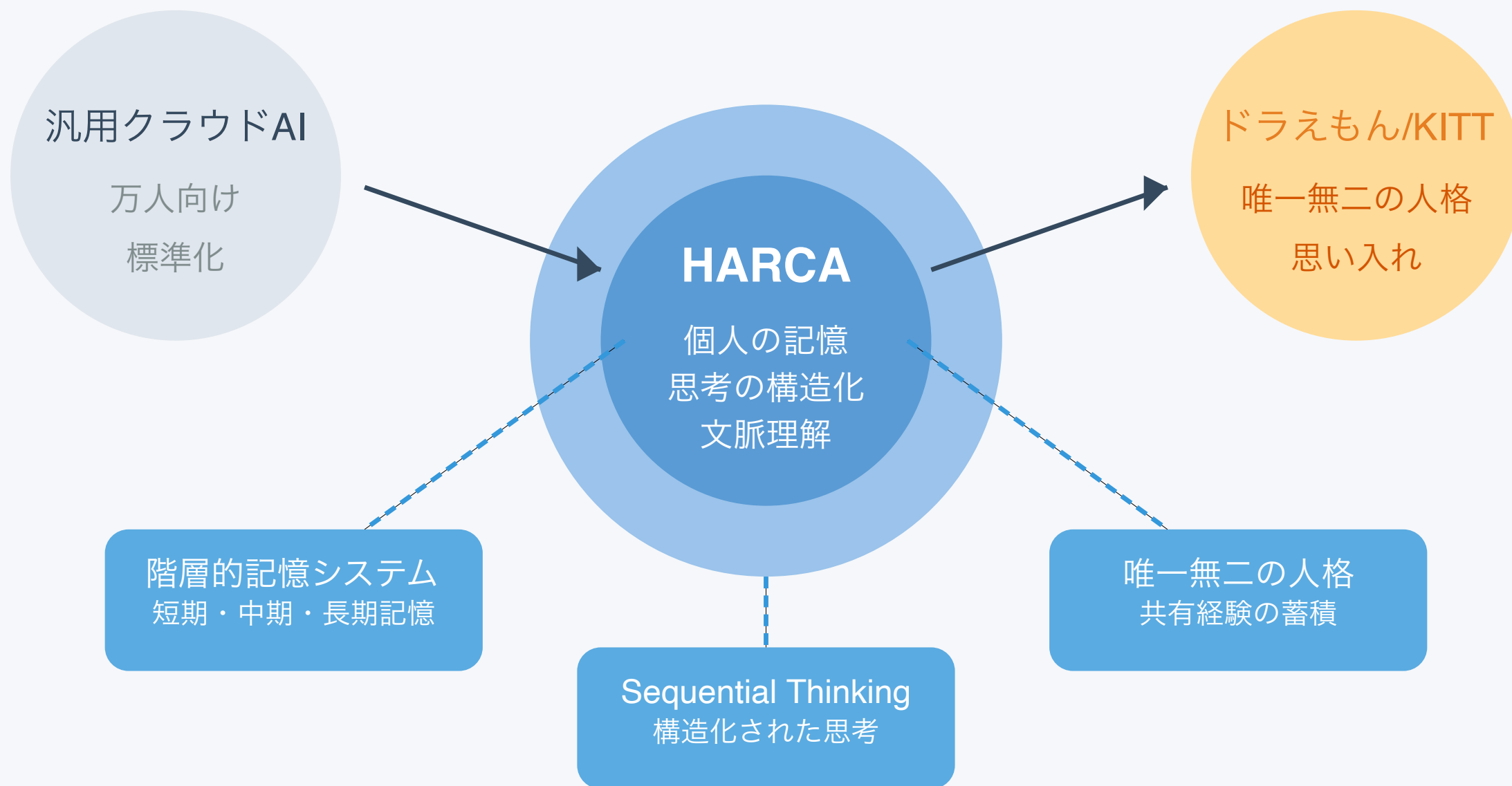
特異性

個人特化

立体的成長

質の深化

パーソナルAIコンパニオンの進化：HARCAから「ドラえもん」へ



「万人のための平均的AI」から「あなただけの相棒」へ